

地域包括ケアシステム検討委員会 グループワーク

テーマ「高梁市における地域包括ケアシステムの課題・今後協議すべき事項」

1 協議事項①～⑤のうち1つ選択

<1グループ>

④ボランティア養成講座・いきいき生活サポート事業

- ・シルバー人材センター、ちょこっとお助けサービス、お助け隊などあるが事業の整理が必要。
- ・SNSで悩みを聞くなどサポーターのフォロー、モチベーションの維持を図ることが必要。

<2グループ>

⑤生活支援体制整備事業

- ・町内会の維持も限界で買物、移動などの支援が3～5年先には地域では難しくなる。企業や大学などと連携して、地域を越えたボランティア、活動範囲を広げたボランティアが必要になる。
- ・ボランティアの確保に向けて、ボランティアの魅力発信が必要。

<3グループ>

④ボランティア養成講座・いきいき生活サポート事業

- ・ボランティア養成講座では、実際に活動しているサポーターの生の声を聞いてもらってはどうか。
- ・サービスの質を上げるためサポーターのステップアップ講座が必要。
- ・ボランティア養成講座に障害者や精神疾患の人の対応についても入れると視野が広がる。
- ・働きながらサポーターをしたいという人もいるはず。リモート研修や動画配信など受講しやすい環境が必要。
- ・サポーター同士のミーティングや連絡会などサポーターが相談できる場所、交流できる場所が必要。
- ・いきいき生活サポート事業の実施にはケアマネジャーとの連携が必要。
- ・いきいき生活サポート事業の1人の利用者をドキュメンタリーに追って動画を作成し、利用に向けての広報をすればいい。
- ・利用料金が介護保険より高い。

2 地域包括ケアシステム全体を通しての課題

*住まい *医療 *介護 *介護予防 *生活支援

<1グループ>

- ・災害、コロナなど有事があっても地域で暮らしていけるか。

<3グループ>

- ・平常時から災害を想定した多職種（いきいき生活サポーターを含めた）の対応の把握、確認が必要。